

平成27年2月12日

住所

氏名 ○○○○

#### 陳述書

前回、私が提出した陳述書に付いて、木内氏の陳述書に、私の陳述が嘘やデタラメであるなどの陳述書を出して来ましたので、そもそも何故？木内久夫氏なる人物が現れ、私の提出した陳述書に反論や全く信憑性が無いと言っているのかと思っていました。そこで、この度、山岡氏が証拠写真として、数枚の写真を提出して来たことにより、その全貌が明らかになりましたので、再度陳述する事にしました。山岡氏及び木内氏の言っている、西田光信氏という人物は、前回の私の陳述書にも記載しているように、絶対にいません。この世に西田光信氏がいるのならば出して来て欲しいと言って来ましたが、再度要請します。このたび山岡氏提出の写真のなかで山岡が指定した人物が西田光信氏であるとの事ですが、この人物は西田光信という名前ではありません。しかし、この山岡氏及び木内氏の主張により、木内氏や山岡氏の狙いが分かりました。そこで、再反論します。この再反論の陳述書を出して、私が全てを話せば、その内容の重大さからも、真実を皆様によく判ってもらえると思います。山岡氏には、山岡氏が写真を出してくれたので、私が詳細に話せる事になりましたので感謝いたします。

(一)

私は、西田光信氏なる人物を知らない、と幾度も申して来ました。西田光信氏なる人物が表に出てきて初めて、信憑性が明らかに成るのでは無いかと考えていました。

西田光信氏と言う人物は、前回の陳述書でも述べてますが、全く知りませんし、この世にいないと思います。私が山岡氏がアクセスジャーナルでネットに写真を掲載した婚約者は私なので、西田光信なる人物は実在しないと断言できるのです。

今回、山岡氏は、山岡氏側から出された写真に私と一緒に写っている私の過去の友人である別の人物が、西田光信であるというのですが、全く違います。

私は、山岡氏側から出された写真の人物の本当の名前も知っていますが、私からは、過去の友人の名前をあえて申しません。そこで、この人物を仮にA氏とします。A氏は本件の写真撮影時に、入籍はしていないが妻と子供がいたのですから、○○の婚約者であるはずがありません。山岡氏も木内氏もよくそんな嘘が言えたものです。

(二)

前回、私が出した陳述書に対しての反論として、木内久夫氏と言う人物が現れました。この木内氏の陳述内容を読むと、なにも知らないのに、さも知っているような陳述内容であり、まったく呆れるばかりです。この陳述をした。木内久夫氏と言う人物の、フルネームは、この度、初めて知りました。たぶん過去の関係者の中では、通称名（キーヤ

ン)と呼ばれ、それこそ何度か、私の言う所の事務所に来ては、それこそA氏とA氏の友人に(たかり)に来てた通称(キーヤン)と言う人物が、木内久夫氏なる人物だと思えます。この木内氏が、私がA氏に(たかり)に来ていたなどと言う事じたい、私と過去の友人A氏の間柄を、全くなにも知らない木内氏が陳述書を出してはいけません。そのような木内氏が陳述書を出しているのです。だからおかしくなるのです。出すならばA氏によく聞き出す事。

木内氏こそ、当時私が見ている限りにおいて、A氏及びA氏の友人に(たかり)に来ていたのを、私は何度か、この目で見ていますので、木内氏の陳述内容は、まったく逆でデタラメな事を言ってます。木内氏が、通称(キーヤン)という人物で在れば、木内氏自身が、私がヤクザである事などは、当然、知っていて当たり前なんです。それをさも、私を知らないようなことを言って、私が、ヤクザであったと知らないとか、木内氏が住所を記載する事で、さも私が怖いとか、今後の不安があるとかの事ですが、木内氏は嘘をついています。

私は、この当時、A氏に依頼された案件で、A氏の代理人として、木内氏を連れて不動産関係の書類を木内氏が持参して、私と共に相手側との待ち合わせ場所である、東京都港区の高輪プリンスホテルのラウンジで、私が、木内氏を相手側の関係者に引き合わせたことがあるのです。だから木内氏が、私を知らない、私の職業を知らなかった?などと言えるはずがないのです。

そして木内氏が、私と元は同業で在ると私が知っていたのは、木内氏自身が、新橋の私の言う事務所に来ていた際に、A氏の友人の人物で、木内氏が確か(若)とか呼んでいた人物、その人物本人に、私から木内氏とは一体何者なのか?誰なのか?を聞いた際に、その人物本人から、木内氏は、亡くなった(うちのお父さん)の若い衆ですよ、と聞けば、当然、その人物のお父さんは、昔、阪神方面で大変立派な渡世人であると、A氏より、既に聞き及んでおり、木内氏が、過去は私と同業のヤクザで在ったと思って当然の事です。私からは、その人物の氏名は言わない方が良いと思うので、あえて言わないです。決して嘘を付くような人ではない人物です。だから、木内氏が通称(キーヤン)ならば(元ヤクザ)だと言うのです。前科が、有る無いの問題ではなく、警察に登録が有るとか無いとか問題ではない。元渡世人の親で、それこそが恩義ある方の息子さん、だからこそ木内氏から(若)と呼んでたのであろう。

木内氏は、普通、あの当時の汚れた姿や格好で私の言う所の事務所には、中々出入りはし難い雰囲気でした。山岡氏自身が、新橋の私が言う所の事務所が、普通の会社だと思ったこと、その事じたいが、少しなのか?多少なのか?感覚の違いなのか?それが嘘なんです。

まして紹介者が、木内氏ならば尚更です。山岡氏は、あの当時の汚れて疲れ果てた、木内氏に一体どんな恩義を与えてあげてたのか?なぜ?木内氏が内容もよく知らないのに、このようなぶざまな、陳述書が出せたのか。木内氏は、その恩義と言う事で、陳

述書まで出す事が出来る関係に、山岡氏となったのでしょうか？あの当時の木内氏は、千円、五千円のお金にも困窮していたのです。私が、木内氏の陳述を読んでいると何故か？私が、山岡氏に渡した、お金の一部を山岡氏が、余りに貧困で可哀相な木内氏に幾らかを恵んであげたのかな？それが恩義なのかな？などと考えてしまいます。

当時、本当に生活に困窮し、木内氏が、住まいする都内の都営だか公団だかのマンションの家賃ですら払えず、そろそろ追い出されると、木内氏自身が言っていたが、それを聞いても誰一人も助ける者はいなかったです。私の言う事務所に、木内氏は窓ガラスの割れた車を、ガムテープを張って乗ってくるほどに困窮してました。あの（キーヤン）の木内氏が、現在は、自動車販売会社を共同経営しているとの事ですので、厳しい御時世によく、頑張ったと称賛いたします。

（三）

次に、山岡氏や木内氏が事務所がどうの、その住所が、違うなど言ってます。

当時私が、出所したばかりで、私が使用する事務所が、まだ在る筈もなく、当然、A氏本人から、〇〇が出て来るから用意した事務所だと言われていれば嬉しくて普通の当たり前に、当然の如く、私の事務所と言ってなにか？問題や不思議なことが有りますか？出所したばかりの当時は、この事務所と、もう一つ近くのビルの二階部分を、もう一軒借りてました。その二つを、私の事務所と言って？何か問題があるのでしょうか？

だから、この事務所には、同業者がたびたび訪れて来ていました。

A氏の関係する同業者も多数きてました。当然、私の関係者も来ています。

しかし、〇〇の事件以来、所轄の愛宕警察署が、目を付けたとのA氏の関係者の情報で、A氏が余程、警察に対して寒い事があるのか？事務所には、余り近寄らなくなっていきましました。そんな多額の負債を含めて全て残された元役員に全てを被せて、会社の役員名からは、自分だけ抜けて逃げ、現在もこの会社の為に苦勞してる元役員の方に悪いと思わないのか？あの当時、A氏が使ってた若い者でA氏をオヤジ、兄貴、社長と言った者は、何人が残ったか？みんな離れたんです。

A氏の身勝手過ぎて、自分の家族の安定と自らの欲得、家族の欲得だけ考える。そんなA氏と決別したのはかなりいます。

いまもA氏と一緒に居る者は、ほかへ行っても自分では飯も食えない者だけが残ったんです。A氏本人が、山岡氏に協力し、木内氏に陳述書を書かせたりしているならとんでもないことです。山岡氏が、陳述書に会社謄本には、西田光信の名前が無いと言ってます。

ちゃんとA氏本人の実名の本名が入ってますよ。全く違うんです。A氏の苗字すら、山岡氏が、ご必要であればA氏の本名が、入った会社の謄本をお見せします。A氏には当時入籍はしていないが妻と子供がいますよ。本当にA氏が〇〇の婚約者と言ったのですか。

（四）

山岡氏や木内氏の言う、私が、組事務所もなく、組員もいない？それがなにか？山岡氏及び木内氏にしても、何かの関係がありますか？私の組員数が、気になり、興味でもあるのですか？組員が居ないという事は、それだけ組員が堅気となって世の中の為に、大変いい事では無いか？と思うのです。もしも、ご用望とあれば、私が堅気にしてあげて、今日現在、元組員に子供が産まれたり幸せな堅気の家を築いてる幾人かの、私の元組員たちを、証人にでも出して、私に堅気にしてきて、ありがとう、との証言でもさせますか？それで、何かを得れるのであれば出廷させます。

(五)

さて、この度山岡氏提出の写真に関してですが、当時の携帯電話のカメラにて撮影した物です。私は、携帯電話のカメラで、A氏やA氏の若い者に撮影して貰ったり、私の若い者に撮影して貰った。この写真のどこが？合成写真というのか？ついでに申し上げるが、前回山岡氏が、ネットに載せた、私の誕生日の祝いの席での〇〇との写真ですが、A氏に渡されたとか言ってますが、山岡さん渡したのは私ですよ。間違えないで下さい。何故？A氏が、私の写真を、A氏の手から山岡氏に手渡すのですか。そんな不自然な形で、私の写真をA氏が、山岡氏に手渡す筈が無いでしょう。

ただし、この写真は当時のA氏が自身の子供を撮影する為に大変高価なカメラを持っていて、A氏が撮影しては、自身で写真印刷していたことがあり、A氏自慢の自宅のパソコンと印刷機で印刷してくれて、ご丁寧に、今では極々当たり前ですが、当時珍しく、A氏が自宅で作成して来て、私が貰った写真です。

山岡氏の陳述書に、この写真の人物が、私で有るとか？私では無いとか？誰にでも判る下らない陳述は辞めましょう。写真が私であった時の保険をかけてまでの陳述はよくないです。

山岡氏が提出の、この写真は、前回陳述書を提出する際に出そうとしましたが、A氏や〇〇の当時の同居人、A氏のお妾さん、会社のお金を使い込みして自らの命を絶ったA氏の弟分、オレオレ詐欺で逮捕されたA氏の若い者が、この写真に出てたので、肖像権の問題もあり〇〇弁護士から、今回は、まだ、この写真を出すのを辞めときましょう。との事で、あえて提出しませんでした。

山岡氏が、この写真を証拠と提出して写真の人物がA氏本人との事により、私も過去の友人A氏の事を、なに一つも隠す必要な無いと判断して、これまで幾分、A氏を私が全てを陳述すれば、いくら縁を切ったと言っても縁を切った時点では、A氏の家庭がいろいろあり大変な状況であった事を思い、過去の友人として詳細な事は、言わず終わればいいなと思っていました。山岡氏が提出した写真は、A氏の承諾なしに出せない写真があります。この写真が出て、私は過去を、今一度よく思い出して、全てを詳細に陳述が出来ようになりましたので、山岡氏提出の、この写真に感謝いたします。

私の陳述に対し、木内氏の陳述書を〇〇弁護士より、渡され読んだ瞬間に、木内氏に陳述書を書かせたのは、私の過去の友人のA氏で有ると直感し、木内氏に陳述書を出させ

たい人物が、確信を持って、A氏だと思いました。

何年過ぎても相も変わらず、人生をうそで生きて居る過去の友人のA氏が余りに情けないです。西田光信氏なる人物は知らない。A氏が関与しているなら、西田光信氏なる人物が、もしこの世に存在するのであれば西田光信氏を出しなさい。

山岡氏が、提出の、この写真の人物が、西田光信氏と嘘を通すなら、説明もごくごく簡単なことなのです。

ただ、故人〇〇が、このような形で又、世に出ては余りにも申し訳なくて、付き合った経緯は、詳しくは、言わないようにしようと思ってました。しかし、山岡氏及び木内氏の陳述内容を読むと、私と〇〇の経緯を詳細に陳述しないことには、このままでは、またしても、A氏やA氏の関係者にはめられてしまうと思い、経緯を詳細に陳述する事にしました。

私が、A氏のダミーの如くの言っている山岡氏や木内氏の陳述書に対しての私の返答でもあります。先に、申して於きますが、決して山岡氏や木内氏が言う、金銭的などの為でなく、私が嘘つきだの、A氏にたかって居ただのと言われては、ただでさえ身勝手に、生きてるA氏に、これ以上好き放題な事を言われたり、されてはいけません。また嵌ってしまいますので、詳細に陳述する次第です。

ご存知の通り、私共は粉骨砕身、稼業に生き、反社と言われ過酷な社会情勢と過酷な環境の中で、其れなりに苦勞して、人生を送っています。

A氏のように、その日、その場面の都合しだいで、今日はヤクザ、明日は堅気、それが、まかり通るA氏は、大変偉い人物なのでしょう。

山岡氏も、だからA氏に依頼したのでしょう。結果的にやはりA氏を頼ったんです。

A氏に依頼したからこそ、木内氏が、陳述書を出せたのです。木内氏など使わず、A氏が正々堂々裁判に出て、判事さんに判断して頂けば良かったんです。

私が、反社の人間で在ることは、ご存知でしょうが。

山岡氏が、依頼したA氏は、私が表の反社であるのであれば、裏の反社の人間なんです。

そのようなルートを使ってまで、私と争う、山岡氏もやはり、反社の一部であると、私は思います。

それはなぜか？と言う事は、後ほど後述します。

(六)

次に、私が〇〇の婚約者であるかとはつまらぬ事になってます。その件につき詳細に陳述します。

なお、判事さんには、私の〇〇と付き合った経緯に関して、〇〇の遺族もおりますので、山岡氏側にネット上には、絶対に載せないように強く通達して下さい。

A氏が、〇〇の婚約者？それは絶対に無いし絶対に有り得ないのです。

何故ならば、私と〇〇を引き合わせて、一緒に成る様に段取りを全て整えてくれたのが、A氏本人なのだからです。私の服役後の住む所や車などの全てを用意してくれて、私の

出所を待っててくれたのが、A氏本人なのです。なぜ？そこまで、私の生活の面倒を見るのか？理由は簡単なのです。

だからこそ、A氏を、〇〇は（お兄ちゃん）と呼んでいたのです。

A氏が、婚約者では絶対にないし、決して有り得ない事実なのです。もし万が一にも、A氏が〇〇の婚約者と言うのであるならば、A氏と言う人間を決して許してはいけなし、A氏と言う偽名の人物の全てを公にするべきです。また過去の友人として、A氏の事は公にします。何故ならば、その後、私が〇〇と付き合う過程で、私自身がA氏に〇〇との以前の関係を問いただした経緯もあるからです。

〇〇は、きっぱりした性格で男と同じ性格でした。だから私に話した話に嘘や偽りは無いと確信します。そして、A氏が、私に対して言ったのです。「〇〇が好きなタイプで、聞いたら〇〇と同郷で驚いた。だから〇〇が出所した時に紹介する為に、これまで面倒も見てきた。一度会えばわかる。きっと好きになってくれる、その為に〇〇を引き合わせる段取りしたんだ。」とまで言った。その本人が、それが〇〇の婚約者と言うのか？全く、冗談では済まされない話です。A氏でも西田光信氏でもいい。裁判に出てきて婚約者といえますか。

〇〇も、A氏に女房子供が居て、尚更、A氏のお妻さんも〇〇のことを知っているのです、A氏は、婚約者で有ろうはずもない。ましてや私自身、人さまの女性で、ましてや当時、私の人生の全て掛けてまで、A氏の為に尽くして、十数年間服役して来た私に対し、友人のA氏が、自分が手を付けた、女性を私と一緒にさせるような事をはたしてするでしょうか？

私が、出所当時、既にA氏には、籍は入っていないが女房と子供が居ました。そのA氏の女房は、山岡氏提出の〇〇との数枚の写真の中には出ていません。

山岡氏提出の写真の中で、A氏の前に座り写って居る女性は、A氏の俗にいう、囲っていた女性（お妾）さんです。

A氏が〇〇の婚約者だとすると、自分のお妻さんと一緒に写っている写真ということになります。もしそれをA氏本人が言ってるのであれば、気が狂ってるのか？そうならば犬畜生にも劣る人間である事は確かです。

私と過去の友人A氏の間について、それだけは絶対にはないのです。過去の友人時代一緒に遊んだり、飲んだりした事は確かです。しかし、一度たりとも同じ女性を共有した事は、絶対にはない。

何故？絶対に、A氏と女性を共有する事が絶対に無いと言い切れるのか？

この事を話せば、御理解が頂けるという事が、過去にあったからです。

この、7年の服役の前の事ですが、懲役4年6か月の服役後の、平成13年8月に、東京恵比寿ガーデンプレス内ウエステンホテルを、A氏が予約して宿泊した際、私が、出所した祝いだと言って、ホテル内の鉄板焼きの店を貸切り、私の友人や私の若い者の男女と遅くまで、会食してその後に、予約された部屋に入った際に、予約の部屋が、私と

私の若い者の部屋が、繋がってる部屋で、寝室が二部屋あり、真ん中が、リビングとなっていて、A氏が会食にいた女性を用意したことがあるのですが、私は断りました。A氏に気があるように思ったからです。

女性関係については稼業には掟があります。山岡氏が言ってる、疑似親子兄弟関係だから、まるで、〇〇を、私とA氏で共有してたかのような余りにも酷い意味合いの侮辱された主張を許せません。

それは真逆であって、疑似親子兄弟関係だからこそ尚更の事、私達の世界では、身内の女に手を出さない。身内の女を取らない。と言うべき、オキテとも言える、言わば取り決めの様なものがあります。そのオキテを犯すような事をするような者を、私たちの稼業では（外道）とか（犬畜生）と言うのです。

その当時の私とA氏との関係において絶対に〇〇の名誉もあるが、私の人生に掛けても私とA氏との間で、〇〇は元より過去に誰一人としても、女性の共有は、天地神明に掛けて絶対にない。

将来は、銀座でクラブを持とうと頑張ってた矢先に押尾により殺害されて、亡くなるまでの短い付き合いとなりました。平成21年8月2日に、〇〇は亡くなりましたが、私達にとり、それから、本当に大変な時期となりました。押尾により〇〇の人生は終わらされたのです。〇〇が死亡したと聞いた私は、当初、交通事故と考え、麻布警察署へ最初に電話して、確認しようとしたのですが、交通課では、前夜の死亡事故は、報告がないと言われ一度、確認のため〇〇が生活の面倒を〇〇の部屋で見てた女性（Y）ちゃんに、交通事故ではないと聞いたら、既に〇〇の両親が東京に向かっているから、間違いはないと言うから、再度、麻布警察署へ電話して、今度は刑事課に回して貰った所やはり死亡している事がわかり、刑事が私に〇〇との関係は？と聞くのでありのまま婚約者である事を告げて、死亡したことが判明したその後、あの大事件に発展して行ったのです。

麻布署には、前日、新島へ海水浴へ行ってたA氏も高速艇で若い者を連れて戻り、私と合流し一緒に麻布署へ行きました。A氏は、〇〇の両親に会った事があり、両親もまたいつもお世話になっていると挨拶を交わしていました。私は、まだ会った事がなく、この時初めて会ったのですが、〇〇と付き合い始めて以来、やはり同郷では、私の名前は非常に出しずらく、〇〇も私の同郷の同級生の事を、みな（なににないの兄ちゃん）と言うくらいに、近過ぎるほど、近い同郷でしたから。

押尾が、〇〇を殺害し、拳銃、供述で〇〇に罪を被せる最低な男だからこそ、押尾を許せずに色々な動きをしたのです。

（七）

次に、山岡氏の裁判に関与する経緯に関して

今回の山岡氏に関しなぜ？との問いかけがあるので答えます。

昨年10月半ばであったと記憶するが、新橋の喫茶店で昔から大変世話に成っている人物（弁護士ではない）と、久しぶりにお茶でも飲もうと会って居たときに、たまたま紹介されたのが、今回の週刊報道サイトの佐藤氏である。その時に、久しぶりに佐藤氏から山岡氏の話が出て、私は当然山岡氏を知っており、昔世話になった事があるよとの話をしました。その時に話を聞きながら、私が世話になった後の山岡氏の現在、その山岡氏に興味湧き、各方面に問い合わせした所、出るわ出るわ、良くもまあ、此処までの人物に、山岡氏がなったという、矢先の昨年10月22日に、私の先輩が、亡くなり、葛飾区の斎場で葬儀が営まれ、その雨が降ってる葬儀の最中に、ある警察に関係がある人物が、私が佐藤氏と会った後に、興味本位から、その人物に山岡氏の現状を、それとなく調べておいてと頼んでいました。

その葬儀の最中に、警察に関係がある人物が私の所に近寄って来て、私の耳元で、（〇〇さん、山岡には、触らない方が良い。〇〇さんが怪我をしますよ。山岡には内閣府の関係者が付いて居ますし、警視庁にも人脈があるから、とにかく山岡に関しては、動いたらいけない。）と、忠告されたから、私はそのような圧力で、〇〇の事件の時に本当に嫌な思いをした事が脳裏に蘇り、権力の名で、私に圧力を掛けてきた、山岡氏が、意外におとなしい顔の割には、かなりな事をしてるなどの情報も、各方面から既に来てたので、山岡氏に、触れば怪我？だからこそ山岡氏に、あえて触る事にして、週刊報道サイトの佐藤さんに、連絡を取って頂き、山岡氏との経緯を有りのままに話す事にした次第です。

山岡氏に、触ればもしかすれば、A氏が出て来ると言うかすかな予感はありましたが、嘘をつくとは。

木内氏はなにを言ってるのか？これまで説明して来ておわかりの人物の木内氏を使う裏の人物が誰で何者なのか。山岡氏が、よくご存じで有ろうと思う山岡氏が、最初どこに私の事で相談したか？変わった権力を私の周辺に使って来たから向かった。山岡氏が、A氏に依頼して、もし陳述でもすればと嘘を言う、ただそれだけの理由と力には、刃向う性格だから、山岡氏が、ただ最初に現在の山岡氏を、佐藤さんから聞いてから、興味本位から動き出した。山岡氏を触り出して以来だが、山岡氏が、昔と変わったのかどうか、変わった権力を使う人物となってしまった。本当に私の周辺への問い合わせや、事情を聞いて来る者が出て来た事は確かです。

これまで表舞台には出ずに、いつも裏で人を操って来た、A氏本人が、この度、山岡氏側の証人としての人物として出て来たと言う、この事じたいが、現在の山岡氏の変な権力では無いのか。山岡氏に対して、木内氏が言う昔の恩義があるのではなく、全て損得勘定で必ず動く、A氏が山岡氏側で動き、私に対して、反論するA氏ではない。それを考えれば、今回なにかが動いたと思う。

それにしても、山岡氏もそうですが、山岡氏自身が金銭の授受に関して、これまでの経歴上おわかりであると思うが、いずれにしても金銭の授受を人に見せる馬鹿は居ないで

すよ。

事務所で、打ち合わせ後に見送る際に、兎に角、宜しく頼むから、ネットで叩くだけ叩いて欲しいと言いだしただけの事です。足代ですよ。足代。

同じような事を、A氏の関係者で、逆に報道関係から金銭を貰って、こちらの情報を売り、その足代を貰った不届者までいる。足代とは、色々な意味があるんですよ。

A氏と縁を切る際に序でに縁を切ってあげた者は、現在の法律で、私達と交友関係が在った場合は、私達の周辺者とか言う事で、私達と同じ扱いとなり一般的な生活が困難になります。そのような条例も出来ましたので、この時に私自身も、この者とはきっぱりと縁を切ってます。

私も事務所として使用した事で、迷惑をお掛けした分頑張っただけで欲しいと思います。

A氏と縁を切ってから、既に、三年が過ぎましたが、その間今日に至る過程で、私は4度、逮捕勾留されました。その都度、A氏がオーナーであったと、山岡氏及び木内氏が言う会社の某役員に関して、当局が、必ず聞くので、その都度、私達とは、全く縁が切れており、現在真面目に働いてるのだからと説明し、私達が大変迷惑を掛けた人物なので、今は全く無関係だと、逮捕勾留される度に、当局には説明して来ました。

また山岡氏や木内氏が言うA氏が、この会社のオーナーで有るならば、オーナーらしく責任を取り、迷惑を掛けた者は救ってやらねば、あまりにも可哀相過ぎます。この会社の実態は、当然A氏が一番知り得るはずですが、だから山岡氏の協力し陳述すれば、〇〇に嫌がらせされるとか、言ってますがA氏のいつもの力を持ってすれば、私を止める事など、いとたやすい事なのです。

私が、嫌がらせとかではなく、山岡氏に協力してA氏本人が出て来て陳述する事で、A氏本人が人様に言えない、なにかがあり、私にも知られたり聞かれて、まずいなにか？でもあるのでしょうか。

いつもいつも困れば逃げる、ばかりの人生だから、卑怯極まりない。そんな生き方ができるのでしょうか。そのA氏が、裏で全て、動かしている人物が何人いようが、その人物たちが言うことの一体なにが本当なのか？私は、なにを言われても、すべて説明ができる。A氏を見限ったのではなく、すべて見切って縁を切ったのです。今回の件に限らず、このA氏と言う人間すべてが、嘘だとも見抜き切り、私は縁を自ら切りにいったのです。それを、裏で木内氏を使って、たかりに来たとか、金銭のトラブルでとか、本当あきれ果てて、すべて公に話して、すっきりとしたいです。

いかに嘘つきだと言う例えの話があります。

当時、服役後の私に約束した生活費は、もとよりA氏が、くれたはずの車でさえ、〇〇が乗っていると、うちの組織から、何故？他組織の〇〇が乗ってるのか？とクレームが来てるから返して欲しいと言われて車を、今回木内氏の知り合いに乗せる為に、よくもこんな嘘までついてでも引き上げて行ったのか？

だから、私は自身がA氏と居てはまた刑務所へ行くとA氏を見極める時期が来たから、

江戸川区西葛西に事務所を借り引っ越しました。

同時期にA氏も、江東区豊洲のマンションへと引っ越したと思います。

〇〇の一件以来何事もうまくいなくなり私とA氏が縁を切ると言う、原因で在ったのも確かであるが、そのA氏が、私との関係を公にされて困るだの、山岡氏に協力すれば私の報復が怖いだの、まあ良くも言えたものである。A氏が本気で動けば、私などは一溜まりもない無い小者なんです。

山岡氏の事も、その色々な動きをした際の一コマなんです。全ての事柄が、私が自分の婚約者を殺害された事で自らの意思で〇〇の無念を晴らすべく動いてた時の事です。〇〇を押尾に殺害され無念を晴らすと、ひたすら走り、当時45歳の私が、私の一歳年下で当時44歳の私の若い者で、同時に運転手をさせてた子を、押尾に報復すれば、当然の如くその子は刑務所に入るので、逮捕の前に、私の戸籍上の子供として養子に入っていた場合は、私が刑務所に面会が入れるからと、考えたので、自分の戸籍と若い者の戸籍を、汚してまでも養子縁組を急ぎよして、押尾報復後の後々の段取りまでをして、動いていたが、山岡氏が、今回提出した写真の向かって一番右奥の人物、既に故人となったが、当時は、A氏の弟分であり、この者が、A氏に、私が、押尾に対し運転手を養子縁組して籍に入れて、押尾に対する段取りをしてるなどと、A氏に告げ口した為に、A氏の自宅に呼ばれ、今は非常に不味い目を付けられてて、〇〇が動くと、会社もみんなすべてがおかしくなってしまう。死んだ者より生きてる者の事を考えて我慢して欲しい。兎に角、非常に不味いからと説得されて動きをやめた事実は、私の戸籍を調べれば、当時の動きが手に取るようにわかると思います。私の戸籍を調べれば、日時的にも全て、私の陳述が本当であるとわかると同時に、そのような大変な事を、冗談や嘘で、自分の若い者の運転手までも子供として自らの戸籍の養子に入れ、押尾に対し〇〇の無念を晴らした後の段取りまでして、無念を晴らそうと、一体誰がするのか？他人ならそこまでするわけがない。

山岡氏が、陳述書にグループの間柄で有ったからなどと、さもグループ内の関係を強調してますが、なんとも情けない陳述をする者だ。自分の一緒になろうと決めてた人が、殺害された無念を晴らすべく動く。極あたりまえの人間としての感覚では無かろうか？〇〇、が殺害された当時は、A氏も（いわされた）と、動いてましたが、やはり日を追うごとに冷めて行った感があります。

その状況が、それが全てではないか？婚約者と言うの成らば、がむしゃらに動いて、当然であると思う。またA氏が〇〇の婚約者と言うのなら、呑気に〇〇の故郷のお墓詣りに行く際に、普通に考えて女房子供を連れて行く馬鹿はいないですよ。

無念を晴らす為に行動した際に使用した、お金は、当然の如く、私の出所した後の生活の面倒を見ると約束してたA氏なのです。

山岡氏に、私が手渡した金銭も、もとの出所はといえば、私の生活の面倒を全て見てたA氏なのです。それがお金の出所と貰った側の中間にいて、ちよろちよろする事じたい、

笑ってしまいます。

まだ、動いてくれた山岡氏はまともです。

当時、国会議員に、力がある人物と紹介された、松浦某、なる人物には、1000万円騙された事実もあります。結果、半分の500万円を何回かに分けて取り戻せただけで、全額の回収はいまだ出来てません。回収出来た金銭は、A氏に返しています。

とにかく人を動かすには、当時、本当にお金が掛かりました。すべて裏のお金なんだから。

次に週刊報道サイトの佐藤氏との関係ですが、

前回山岡氏の事で私が、陳述書を出す経緯ですが、理由は簡単です。A氏が出れば、私が何を話すかぐらいの知恵が、A氏には在る筈です。そのA氏が、山岡氏側の人物として出て来たので私も全てを話せる事となりました。

A氏と共に木内氏を使いながら居る人物も、私の7年の務めの内容と、その前の服役の、4年6か月の服役の内容の事を話せば、A氏とも縁が切れるでしょう。A氏の友人も大変な状況になる話です。

A氏の依頼で、7年間服役して出て来たらば、当のA氏が私に何とかして欲しいと懇願されて逮捕され事件で服役した私が、当の本人二人が、元の鞘か？なにか知らないが、以前の友人関係に戻って居て、私に対し、（おめでとう）と言ってはいけません。当人から祝い金50万円を渡された時の気分は、本当に気分が悪く言葉では、例えようがない思いでした。だから50万円をA氏に半分やり、その夜、飲食し全て使った。

〇〇弁護士には、その内容は既に前回の陳述書を出す時に渡してあります。

〇〇弁護士が、余りの内容の事実が書かれた私の書いた書面は、今は出さない方が良いとの事で、現在も〇〇弁護士が保管しています。

〇〇の死後、私は年に最低でも二回墓をお参りして供養しているが、姉御肌の〇〇に、散々生前、世話になったA氏側の者達の一体誰が、お墓参りして供養してきたか？私の服役後の生活を当然見て当たり前の、A氏が私と〇〇と一緒にさせたのであるから、当然、この当時は〇〇のお墓のお金は出して頂き当然です。

墓碑の両横の30センチくらいの円形の表には、墓碑に送る意味でアゲハチョウの彫刻を施し、向かって右側の丸型墓碑の向かって左側に私の氏名や友人たちの氏名を彫刻してあります。同じく向かって左側の円形の墓碑にも、友人一同として各人の氏名が彫刻されています。

墓碑や墓標は、永遠と、その家代々に続く、彫刻の名が残るのです。

それを、木内氏如きが、〇〇のお墓の為に、かなりA氏が使ったようだ。などと言われたら、私はたまった物ではない。この後に及びながら、〇〇のお墓の為に、かなりのお

金を使ったと言う木内氏を通していうA氏が、本当に情けなくなります。だから私がA氏から離れて行ったのは必然的な事で、やはり離れて正解であったと思う。

山岡氏に関しては、

山岡氏側に協力してるのが、A氏で有ると今度判った以上、に及んでます。全て私と同業の関係者であり、昨年の葬儀の際に警察の関係者の言う、山岡に触ると怪我ををすると言う意味は、山岡に触ると警察に逮捕されると言う意味なので有ろうし、同業者からの今後の圧力もあるのであろう。

山岡の陳述書に、私に名刺も渡して居ないし、無料パスワードも教えていないとの事ですが、名刺は確かに頂いております。

山岡氏に事務所で名刺を渡されたのは、何人も居るのですよ。私と共に居た、A氏は当然名刺を渡されていても、山岡氏側に居る為に名刺を頂いていないと言う事と判ります。これ以上、私が山岡氏自身が窮地に陥る証拠を出しても仕方がないと思います。

山岡氏が、事件当時教えてくれ事件の終焉と共に、アクセスジャーナルに山岡氏が教えてくれたログインパスワードでアクセス出来なく成ってしまえば、あれから4年の年月が過ぎて残って居る筈が無いのは、当然の事とは思いませんか？

ただし事件当時あれほどの回数毎日幾度もアクセスしたパスワードです。私の記憶をたどれば、パスワードの頭部分が確か？

小文字で（access）では無かったかな？

その小文字の後が数字であったはずです。

（access）の後の数字が浮かばないだけである。

だからこそ私の当時使用していたパソコンを証拠として提出すると言ってます。当局が調べれば、私のパソコンの履歴から山岡のアクセスジャーナルの有料サイトのアクセスした履歴が必ず残ってます。

山岡氏自身、その昔、俗に言う大物ブラックジャーナリストを潰し、今日の山岡氏になった原点を決して忘れてはいけない。

私の関係者たちは、皆が口を揃えて、山岡氏に関しては、私なりに各方面より情報が来てるが、やり方が、私どもよりもたちが悪い。

だからこそ、私に対し私の業界の上の方から山岡氏の事で動くなと言ってきた。これは私に対し、圧力を掛けたから、私は引かない事にしました。私の関係者が言うには、山岡氏に関して怖いのは、その時ではなく、その後からなんですよ。

最初は、ネットで叩き、不味いと思えば素直に謝罪したりして、しばらく後にまた、ネットで書かれるから、それが恐ろしいんですよ。一度ネットに出してしまうと消せないから怖いんです。と言うが、今度、私自身その当事者になり、その意味が良く判った訳です。山岡氏は、相手を興奮させて、それをうまく巧みに利用すると言う、高等な戦術が

有る様です。

私の事も、ネット上で上手く挑発してきているらしいですが、大丈夫ですよ、何を言われても事実は曲げない主義ですから。

山岡氏も素直に良く考えて贖罪して下さい。私のような者といつまでも争わず、以前の山岡氏に立ち戻って下さい。そこら辺の三流の人でなく力を持った山岡氏なんだから、過去の非は認めて、一から出直して下さい。

私から受け取って居ないとあくまでも、言うのであれば、山岡氏が負けた時は、私は返して欲しいだのとは言わないし、今頃になって、〇〇のお墓の代金が高ったのだのと情けない事を言う、A氏とは違いますので大丈夫ですよ。安心しておいってください。

一度あげたものは要らないし必要ないので、世の中の親の居ない施設の子供たちの為に、寄付の程を宜しくお願い致します。

今回、私が裁判所に嘘の陳述書を出して山岡氏の業務妨害をしたとネットを巧みに利用している。本当に迷惑です。ネットの怖さは、山岡氏自身が一番知って居るのだから、山岡氏自身が、認めるものは、認めたくえで罪を償って欲しい。

この山岡氏との訴訟が終われば、一度A氏の事をありのまま、ネットで書き込みをしたらどうか？と山岡氏に提案します。

先日、〇〇の事件以来、久し振りに会った際の山岡氏は私の顔を見るなり驚いた様で、これまで陳述書にて見た事がないだの特定できないなどと、陳述して来てましたが、ちゃんとしっかり私の事を覚えていたではないですか。

東京地裁の判事室内及び判事室の外でも、まるで周りに聞かせるような大きな声で、（〇〇さん、私は、お金は受け取って居ないですよ？）などと、わざとらしい自演をしてはいけない。

山岡氏の弁護士さんも止めてたように、お互いいい大人なんだから、普通の声で通じますよ。

私は、この業界で懸命に生き苦勞もしてる。都合の良い時だけ、ヤクザを語り、ヤクザを利用してA氏や取り巻きの者達が、今度は、山岡氏側の手先になりました。

山岡氏には、先日、東京地裁であった際に、山岡氏がA氏が元ヤクザだったとは知らなかったと言うから、私から申しました。

（山岡さん、A氏に騙されてはいけないよ。）とは一言だけ教えてあげたが、山岡氏本人も、A氏が元なのか？現なのか？判らないと言ってたので、私から教えてあげた。（やくざ）だよ。とだけは。

A氏側が山岡氏側に、付いて私に向かって来ましたので、やはり山岡氏は完全にブラックジャーナリストで在ると確信した次第です。山岡氏に申します。

此方は、押尾の責任追及の為に渡して記事にして貰う、ただ其れだけの理由で渡したのだから、素直に貰った物は貰ったと言って、認めれば良いのに、私や縁を切った過去の友人が、過去の話で争うという構造になってしまいました。

押尾事件当時の山岡氏が事務所に来て座っていた場所は、私の言う所の事務所、入って直ぐのコーナー型の応接ソファで山岡氏が入口に背を向けて、山岡氏に対して私が横向きに座り、私が山岡氏に近い席に座りました。事務所には、言ってしまうと簡単な事だが、大変名のある団体の偉い肩書を持った人物がいましたが、名前は言えません。

木内氏が、私がちょろちょろと、たまに来ては一言二言口を出してたなどによく言ったものだ。木内氏いう事務所に仕切りがなくというが、仕切りはちゃんとありましたよ。だから、事務の席から見えないから、私や友人が昼寝が出来ていましたよ。木内氏が来たことが少なくて判らないだけの人から聞いた話を陳述書に書かないで下さい。

A氏が生活の面倒を見ると言う事で、私は、その代償で十数年間の服役をして身体をかけた訳であって、私の生活を見て当然、見られて当然であるが、その後金額も段々と減り、最後は面倒を、仕方なく見てやってる程度の扱いにて、自分の家族さえ良ければいいと言う考えが、良く理解できたので、縁を切っておかないと、また、利用される事になると見切ったのです。

山岡氏側が判事さんに聞かせたいと言う私の事が語られたとのCDですが、この当時の事が語られたCDがあるとすれば、私から判事さんが、CDを聞く前に私なりの考える登場人物をお伝えしておきます。

公平にそのCDを私にも聞かせて下さい。

判事さんにしか聞かせられない内容との事なので、相当な人物が私の事を証言してるとの事ですので、私の方から先に、判事さんが聞く前にCDに私の事を話せる人物や登場する人物を、私の勝手な予想ですが、その人物が証言してるならば、登場人物はA氏と木内氏、A氏の元女で夫婦でA氏に未だに尽くす、女性(Rちゃん)と年下の亭主(Y)、当然、木内氏が若と呼んでた人物もいるでしょう。

そこにA氏の身の回りや子供の養育係の(Y君)と最悪、A氏と古くからの友人で、私も知ってる現役の渡世人(Nちゃん)等のA氏の取り巻きの役者たちが総出演の事と推察します。

を反省しつつ陳述します。